

## CW 交信勉強会 (5,Oct,2008)

### 受信練習について

#### 符号を覚える

とにかく符号を覚える(アルファベット、数字、記号・・・「/」、「,」、「.」、「?」)

テレビその他の広告や、街に掲げられている看板に横文字が溢れています、それを見て符号に変換して下さい。(この方法は早く卒業し、次に移りましょう)

**音を聞いて筆記受信練習をする**(筆記するのが大事、暗記受信は将来の事)

とにかく早い符号を聞いて練習するというのが一番良いと言われていますが、いやになるのも早いので、適度の速度の符号を、**短時間で良いから毎日継続して聞くこと**、受信練習は、いやになってもあきらめずに継続すること、上達速度はリニアでは無い、継続して練習していれば、ある日突然といっても良いほど少しレベルが上がり、また壁にぶつかり、それでも継続していれば、また少しレベルが上がり、この繰り返しです、最初の壁を我慢して、乗り越えるか、乗り越えないかが運命の分かれ道 hi

**受信練習用のソフト**(他にもありますが・・・以下は、240 の HP にリンクがあります)

A1A Breaker   CWTW-Pro   CW PLAYER   Morse Runner   CW Freek

### 送信について

#### キー選択の順位

- 1、エレキー(正しくは、エレクトリックキーヤー、エレキーは「カツミ電機」の商標)
- 2、縦振れキー(ストレートキー、通称米搗きバッタとも言われる)
- 3、バグキー(最初にこのタイプを発売した Vibroplex 社のキーに、Lightning Bug の標章がついていたのでこう呼ばれる、Back key や Bag key ではありません)

エレキーは 1 対 3 の正確な符号が出ますが、字間は 3、単語間は 7 短点分を！！

最近、エレキーより前に、最初は**パソコンキーボード**でとも言われています。

#### 交信への取り組み

- 1、サービス局を呼ぶ
- 2、コンテストで CQ を出している局を呼ぶ
- 3、ラバースタンプ QSO に取り組む

ここまでくれば、後は広い世界が待っています、和文もやりましょう。

交信は、相手あつての事、いかに相手に聞いてもらえるかという気持ちが一番大事、基礎のできた OM さん達の個性を出した癖打ちと、単なる汚い符号の局を混同しないこと、あんな符号でも良いなどと思わず、縦振れ、バグキーは指導を受けて始めましょう。

## 送信について-2

短点、長点の組み合わせの 1 符号では、短点、長点等の間は、1 短点、符号と符号の間は、3 短点、単語と単語の間は、7 短点…これが基本です、頭に叩き込んでおいてください。…無線局運用規則（モールス符号の使用）第 12 条→別表第一号

**エレキーの場合**、コントロールできるのはスペースだけです、だから、符号と符号との間隔をちゃんとキープして1文字1文字を明確に打つようにしましょう。

エレキーで符号を続けてしまうと、打ってる本人にしか判らない符号が出てしまいます、急がなくていいから、明確で品位の高い符号を打つようにしましょう。

電信の場合、符号の速さよりも内容の簡潔さで勝負する事、相手に求められない限り、いちいち相手の打ったことをリポートする必要はありません、トントンの交信の魅力は、切り詰めた表現の美しさにあります、受ける方してみれば、しつこいリポートや、間違いだらけで、訂正符号ばかりの高速打鍵より、ゆったりとした正確な符号の方がよっぽど気分が良いと思います、「これで相手に判るかな?」と思いながら、確実に打つ心がけが必要です。

**エレキー以外(縦振れ、バグキー等)**で手打ちするとき、一般に下記のようになることが多いので注意が必要。

**最後の長点が短くなりがち、特に短点の直後ではこの傾向が強くなる**

「A」が「I」にならないこと      「K」が「D」にならないこと

「Q」が「Z」にならないこと      「X」が「B」にならないこと

**短点の直前の長点が長くなりがち**

自分がどういう風に打ってるか判って、しかも自分の符号、すなわち長点や短点の長さ、それに点と点や語と語との間隔をちゃんとコントロールできるようにして下さい、また、間違えたら必ず訂正符号を出して打ち直すこと。

急いで打つ必要はありません、ちゃんとスペースを取って正確に打つ方が大切、次の符号を出すのを急ぐと、最後の長点や短点、それにスペースが短くなったりします。

個性を出すための癖打ち?は、電信を究めてから仲間内だけでやりましょう、基礎も出来ていないのに、聞きかじりでそんな符号を真似しているのか、単に下手糞だけなのか、あまりにも汚い符号が撒き散らされています、ベテランはどんな符号でも難無くコピーしますが、だからと言って、そんな汚い符号のばら撒きは止めましょう。

**交信は相手あってのこと、相手にわかりやすく、双方が楽しくを忘れないように!!**

**(参考)**

無線局運用規則(送信速度等)第 15 条…送信速度の標準…和文 75 字/分・欧文暗語 16 語/分・欧文普通語語 20 語/分…(2項 前項の送信速度は、空間の状態及び受信者の技倆その他相手局の受信状態に応じて調節しなければならない)

**遅いのは恥じゃない、速いのが偉いんじゃない…誰かが何処かで書いていました。**